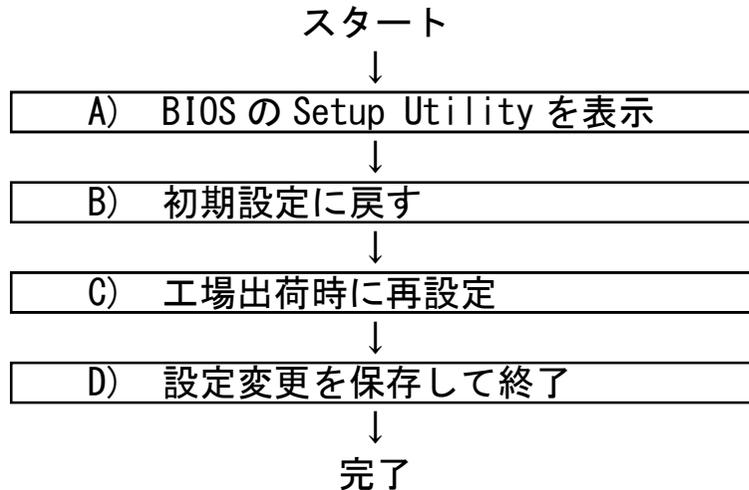


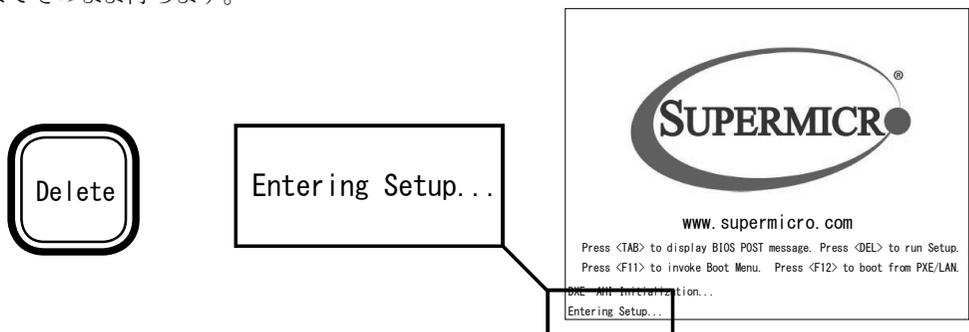
BIOS 出荷時設定

本製品の BIOS 設定は、出荷時に本紙の通り設定しています。BIOS 設定が必要な場合は、本製品の電源投入直後にキーボードの [Delete] キーを押してください。OS を再インストールする場合は（リカバリーを含む）、本書の通り設定してから行ってください。



A) BIOS の Setup Utility を表示します。

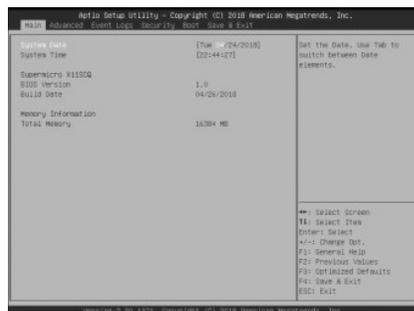
電源投入直後、または再起動直後に [Delete] キーを押します。[Delete] キーにより、画面左下に「Entering Setup...」と表示されます。BIOS 設定画面（Aptio Setup Utility）が表示されるまでそのまま待ちます。



ご注意

押すタイミングによっては Setup Utility が表示しない場合があります。その場合はいったん本製品をリセットして Setup Utility の表示を試みてください。OS が起動した場合は OS の再起動をし、Setup Utility 表示を試みてください。

BIOS 設定のメイン画面（「Main」タブ）が表示されます。以降いくつかの項目を設定します。キーボードを使い設定します。



ご注意

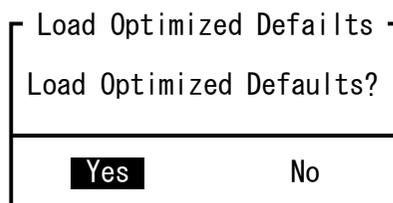
BIOS 設定画面を表示しても、キー入力を受け付けられない場合があります。これは USB キーボードのキー入力回数が多過ぎたためです。しばらく待つか、USB キーボードを挿し直してください。

B) BIOS 設定を初期設定に戻します。

BIOS 設定画面が表示されましたら [→] キーで「Save & Exit」タブに移動します。

次に [↓] キーで「Load Optimized Defaults」を選択し、[Enter] キーを押します。

「Load Optimized Defaults?」と表示されますので「Yes」を選択後 [Enter] キーを押します。BIOS 設定が基本状態に戻ります。基本設定後、手動による設定が必要です。



C) 工場出荷時に再設定します。

各項目を手動設定します。本書は手動設定が必要な項目のみを記載しています。

本文中 ▶ 印の部分は [Enter] キーを押すことにより、詳細項目が表示されることを表しています。また反転文字が設定項目です。

【操作方法】

- ・ [←] [→] [↑] [↓] キーで項目移動。
- ・ 日付や時間設定は、[Tab] キーで年月日や時分秒の各項を移動。
数字キーで直接入力も可能。[+] [-] キーで増減変更。
- ・ 設定変更項目へ移動後、[Enter] キーを押すと選択メニューが表示。
[↑] [↓] キーで選択後 [Enter] キーで確定。
- ・ [Esc] キーを押すと一つ前の選択メニューが表示。
大項目で [Esc] キーを押すと、セーブメッセージを表示。 [BIOS-10] ページ

【Main】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
System Date						【 本日の日付 】
System Time						【 現在の時刻 】
Supermicro X12SCQ						
BIOS Version			X. X			※ 1
Build Date			MM/DD/YYYY			
Memory Information						
Total Memory			XXXX MB			※ 2

※ 1: BIOS のバージョンにより表記が異なる場合があります。

※ 2: カスタム仕様により、Total Memory 値が異なります。



ご注意

カスタム仕様により、以降のページにおいて表示されない項目があったり、記載のない項目が追加表示される場合があります。

【Advanced > Boot Features】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
Fast Boot					[Disabled]	
Quiet Boot					[Enabled]	
Option ROM Messages					[Force BIOS]	
Bootup NumLock State					[On]	
Wait For "F1" If Error					[Enabled]	
Re-try Boot					[Disabled]	
Power Configuration						
Watch Dog Function					[Disabled]	
AC Loss Policy Depend on					[Last State]	※ 3
Power Button Function					[Instant Off]	
DeepSx Power Policies					[Disabled]	

※ 3: 電源投入方法の設定

- [Stay Off] 前面の電源スイッチで電源投入します。
- [Power On] 背面の電源スイッチ、あるいは背面の電源スイッチがオンの状態で AC ブレーカなどで電源投入することができます。
- [Last State] Stay Off と Power On のどちらの状態も有しており、電源切断方法に応じて、次回の電源投入方法が決まります。



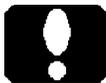
ご注意

電源投入方法の設定を変更しても即座に反映されません。設定変更後は必ず、正しいシャットダウンを行ってください。以降、変更した電源投入方法が機能します。

【Advanced > CPU Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
CPU Configuration						
Intel (R) Core(TM) i7-10700E CPU @ 2.90GHz						} ※ 4
.						
.						
Hardware Prefetcher						[Enabled]
Adjacent Cache Line Prefetch						[Enabled]
Intel (VMX) Virtualization Technology						[Enabled]
Active Processor Cores						[All]
Hyper-Threading						[Enabled]
AES						[Enabled]
Boot Performance Mode						[Max Non-Turbo Performance]
Intel (R) SpeedStep(tm)						[Disabled]
Intel (R) Speed Shift Technology						[Disabled]
Turbo Mode						[Enabled]
Power Limit 1 Override						[Disabled]
Power Limit 2 Override						[Disabled]
Power Limit 2						0
C-states						[Disabled]
MonitorMWait						[Enabled]

※ 4: カスタム仕様により表示が異なります。



ご注意

CPU 機能の制限により、表示されない項目があったり、ここに記載のない項目が追加表示される場合があります。

【Advanced > Chipset Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
WARNING: Setting wrong values below sections may cause system to malfunction.						
▶ System Agent (SA) Configuration						
System Agent (SA) Configuration						
SA PCIe Code Version		X. xx				
VT-d		Supported				
▶ Memory Configuration						
▶ Graphics Configuration						
▶ DMI/OPI Configuration						
▶ PEG Port Configuration						
▶ GT - Power Management Control						
VT-d		[Enabled]				
GNA Device (B0:D8:F0)		[Enabled]				
} ※ 9a						
▶ PCH-I/O Configuration						
PCH-I/O Configuration						
PCH SKU		Q470				
Stepping		xx				
▶ PCI Express Configuration						
} ※ 9b						
Frontside Audio Mode		[HD Audio]				
PCIe PLL SSC		[Enabled]				

※ 9a : PCI Express 3.0 x16 及び PCI Express 3.0 x8 スロットの設定

※ 9b : PCI Express 3.0 x4 スロットの設定

PCI Express スロットへ接続した拡張ボードとの、整合性や調整を行うことができる主な項目です。拡張ボードが動作異常を繰り返すようでしたら、拡張

ボードに合わせて設定ください。例えば「Max Link Speed」項や「PCIe Speed」項は、拡張ボードに合わせた最大転送レートを設定する項目です。

- [Auto] 8.0GT/s を上限に、以下の転送レートを自動設定します。
- [Gen3] 8.0GT/s を上限に設定します。
- [Gen2] 5.0GT/s を上限に設定します。
- [Gen1] 2.5GT/s を上限に設定します。

【Advanced > PCIe/PCI/PnP Configuration】メニューにも整合性や調整を行う項目があります。

【Advanced > Chipset Configuration

> System Agent (SA) Configuration > Graphics Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
Graphics Configuration						
IGFX VBIOS Version				N/A		
IGFX GOP Version				X. X. XXXX		
Graphics Turbo IMON Current				XX		
Skip Scanning Of External Gfx Card				[Disabled]		
Primary Display				[Auto]		
Internal Graphics				[Auto]		※ 5
GTT Size				[8MB]		
Aperture Size				[256MB]		
DVMT Pre-Allocated				[32MB]		
DVMT Total Gfx Mem				[256MB]		
PM Support				[Enabled]		
PAVP Enable				[Enabled]		
Cdynmax Clamping Enable				[Enabled]		
Graphics Clock Frequency				[675 Mhz]		
Skip CD Clock Init In S3 Resume				[Disabled]		

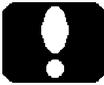
※ 5: グラフィックボードを増設している場合は、本項を [Disabled] に設定します。
製品が持つグラフィック出力機能を停止します。

【Advanced > SATA And RST Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
SATA Controller(s)				[Enabled]		
SATA Mode Selection				[AHCI]		
Aggressive LPM Support				[Enabled]		
SATA0				HDD/SSD Model Name (XXXX, XGB)		
Software Preserve				SUPPORTED		
Hot Plug				[Enabled]		
Spin Up Device				[Disabled]		
SATA Device Type				[Hard Disk Drive]		※ 6
SATA1				DVD Model Name		
Software Preserve				N/A		
Hot Plug				[Enabled]		
Spin Up Device				[Disabled]		
SATA Device Type				[Hard Disk Drive]		
.						
.						
.						
SATA5				Empty		※ 7
Software Preserve				Unkown		
Hot Plug				[Enabled]		
Spin Up Device				[Disabled]		
SATA Device Type				[Hard Disk Drive]		

※ 6: SSDをお使いの場合は [Solid State Drive] に設定します。以降 SATA5まで、カスタム仕様に合わせて設定します。

※ 7: SATAドライブが接続されていない場合は [Empty] と表示されます。



ご注意

(M.2 SSD RAID を除く) 「M.2 SSD」は SATA ポートに接続していないため、**【SATA And RST Configuration】**メニューには表示されません。「M.2 SSD」は M.2 M-key PCI Express 3.0 x4 スロットへ装着です。接続状態を確認するには **【SMCI Security Erase Configuration】**メニューでご覧いただけます。

参考 M.2 SSD (M.2 SSD RAID を除く) は、**【Security > SMCI Security Erase Configuration】**メニューに表示されます。設定項目はありません。

【Security > SMCI Security Erase Configuration】メニュー

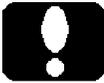
Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
SMCI Security Erase Configuration						
HDD Name		Xxx				
HDD Serial Number		XxxXxx				
Security Mode		SAT3 Support				
Estimated Time		xx Minutes				
HDD User Pwd Status		NOT INSTALLED				
Security Function		[Disabled]				
Password						
HDD Name		M.2 SSD				ここに表示
HDD Serial Number		xxx				
Security Mode		Not TCG/SAT3 Supported				

【Boot】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
Boot Mode Select [UEFI]						
Fixed Boot Order Priorities						
Boot Option #1 [UEFI CD/DVD] ※ 8						
Boot Option #2 [UEFI Hard Disk:Windows Boot Manager]						
Dual Boot Order #3 [UEFI USB Key]						
Dual Boot Order #4 [XXXX]						
.						
.						
.						
Dual Boot Order #9 [XXXX]						
▶ Add New Boot Option						
▶ Delete Boot Option						
▶ UEFI Hard Disk Drive BBS Priorities ※ 8a						
▶ UEFI USB Key Drive BBS Priorities						
▶ UEFI NETWORK Drive BBS Priorities						
▶ UEFI Application Boot Priorities						

※ 8: 起動ドライブの優先順位を設定します。

※ 8a: ※ 8 の設定時に Windows 10 をインストールした「UEFI Hard Disk: Windows Boot Manager」が表示されない場合には、本項を設定します。本項を選択し、「Windows Boot Manager」を選択します。



ご注意

- USB 接続の外付け CD/DVDドライブの場合は表示名の行頭に「USB」が、UEFI 対応 DISC がセットされている状態であれば行頭に「UEFI USB」が、付記されます。内蔵の光学ドライブの代わりにご使用いただけます。
 - カスタム仕様により、設定（優先順位）が異なります。
-

D) 設定変更を保存して終了します。

設定終了後、再び「Save & Exit」タブを選択します。

「Save Changes and Reset」を選択し、[Enter] キーを押します。

「Save configuration and reset?」と表示されますので「Yes」を選択して [Enter] キーを押します。

Save & reset	
Save configuration and reset?	
Yes	No

設定内容が保存され再起動します。



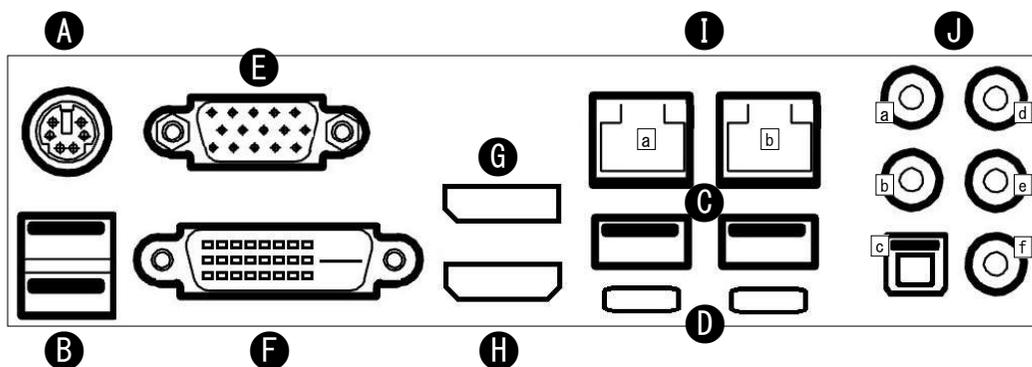
ご注意

「Discard Changes and Exit」や「Discard Changes」を選択実行すると、設定内容が保存されません。

ユーザズマニュアル補足

S63 シリーズ

1. 製品背面側のコネクタ

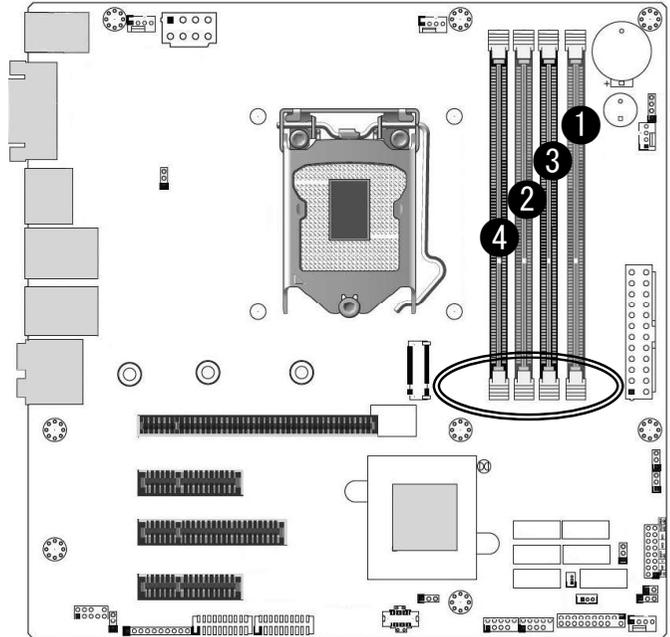


- A: PS/2 ポート PS/2 キーボードやマウスを接続できます。
- B: USB 2.0 High-Speed (Type-A) 2 ポート
USB 2.0 を上限に、USB 機器を接続できます。
- C: USB 3.2 Gen2 (Type-A) 2 ポート
USB 3.2 Gen2 を上限に、USB 機器を接続できます。
- D: USB 3.2 Gen2 (Type-C) 2 ポート
USB 3.2 Gen2 を上限に、USB 機器を接続できます。 *1
- E: VGA ポート VGA モニターを接続できます。 *2
- F: DVI-D ポート DVI-D モニターを接続できます。 *2
- G: Displayport (1.2) Displayport モニターを接続できます。 *2
- H: HDMI (2.0) ポート HDMI モニターを接続できます。 *2
- I: LAN (Gigabit(10/100/1000 Mbit/sec)) 2 ポート
 - a : Intel(R) I219-LM
 - b : Intel(R) I210-AT
- J: オーディオ機器を接続できます。
 - a : Center/LFE Out
 - b : Surround Out
 - c : SPDIF Out
 - d : Line In
 - e : Line Out
 - f : Mic In

*1: USB PD (USB パワーデリバリー)、Alternate Mode (オルタネートモード) には対応しません。

*2: 同時使用は上限 3 ポートまで可能です。

2. メモリーモジュールの増設



■メモリーモジュールの取り付け方法

- 1) 1ヶだけの場合は①に装着します。
- 2) 2ヶ同容量の場合は①と②に装着します。
- 3) 4ヶの場合
 - 3-1) すべて同容量の場合はそのまま①～④へ装着します。
 - 3-2) 容量が一組(2ヶ)ごと異なる場合は、①と②に同容量一組(2ヶ)を③と④に同容量一組(2ヶ)を装着します。
 - 3-3) 容量が異なる場合は、「①、②、③、④」の順に、容量の多いメモリーモジュールを装着します。



ご注意

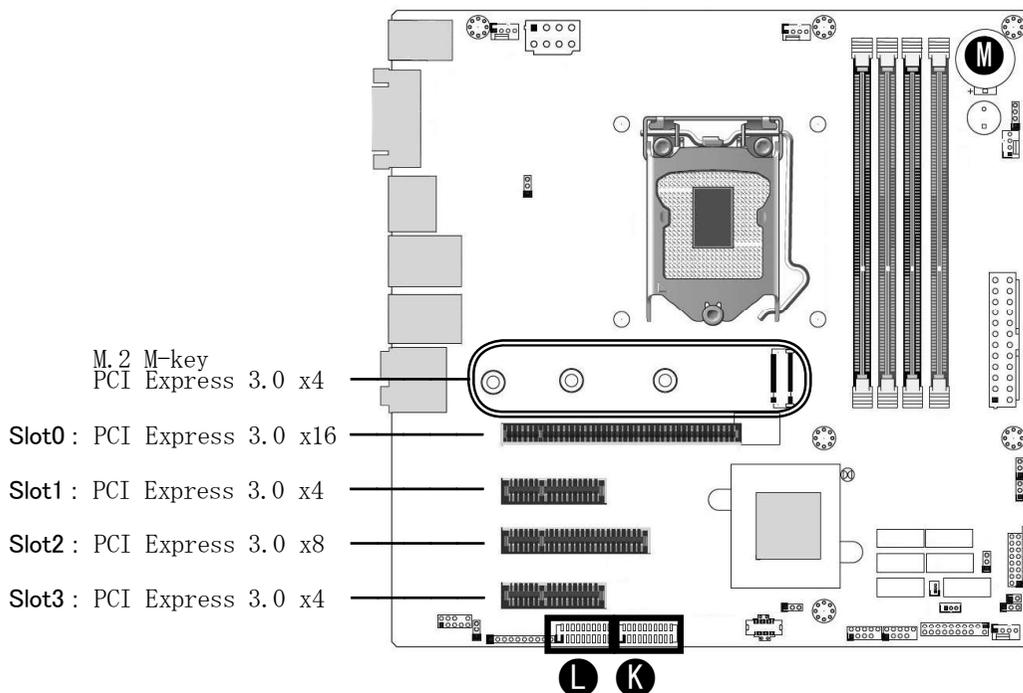
- ・メモリーモジュールには取り付け向きがあります。スロットの切り欠きに合わせて取り付けます。
- ・メモリースロットの片側のレバー (PCI Express スロットに近い側 ○部) は固定されています。
- ・より良い性能を発揮するために、2ヶ単位での装着 (Dual Channel) を推奨します。

最大 128GB (32GB × 4)

32bit OS が搭載されている場合は、最大 4GB までが認識されます。

また 4GB の内、512MB ~ 1GB 程度がシステム用として使用されます。

3. 内部のシリアル COM ポートコネクタ と 拡張スロット



K: Serial port (COM1/COM2)

シリアル (COM) ポート (RS-232C) ケーブルを接続できます。

L: Serial port (COM3/COM4)

シリアル (COM) ポート (RS-232C) ケーブルを接続できます。

いずれも、カスタム仕様によっては占有済みです。

N: 電池ホルダー リチウム電池 CR2032 装着済み。

コイン型やボタン型と称されることもある一次電池です。

リチウムイオン電池 (二次電池) ではなく、充電することもできません。



ご注意

- PCI Express 3.0 x16 と x8 の 2 スロットには合計 16 レーンの制限があります。
(x16/NA または x8/x8 のどちらかです。 NA: お使いいただけません)
- M.2 M-key PCI Express 3.0 x4 スロットは、M.2 PCIe(NVMe) 対応 SSD のみ使用
できます。搭載可能サイズは 2242/2280/22110 です。
- (M.2 SSD RAID を除く) M.2 SSD ヘリカバリーする場合は光学ドライブを除く、
全ての SATA 接続機器を外してください。
- **K** コネクタと **L** コネクタは、同じ形状、同じ機能です。このコネクタ以外にも良く
似た形状のコネクタがあります。
- 外部シリアル (COM) ポートケーブル (オプション) を接続しますと、拡張スロッ
トを占有します。占有スロット数は、カスタム仕様により異なります。

安全にお使いいただくために

1) PS/2 ポート

1-1) PS/2 キーボード、及び PS/2 マウスを接続してお使い頂けます。

1-2) Windows をシャットダウンした後、PS/2 キーボードや PS/2 マウスを操作しますと本製品の電源が ON (入) します。これは PS/2 機器を接続している場合の仕様です。(変更不可)

1-3) PS/2 キーボードや PS/2 マウスを接続したり、取り外したりするだけでも電源が ON (入) します。PS/2 機器を接続したり、取り外す際には、メイン電源スイッチを OFF (切) するか電源コードを抜いてください。

2) USB 2.0 ポート

2-1) USB キーボード、及び USB マウスなどの USB 機器を接続してお使い頂けます。

2-2) Windows をシャットダウンした後、USB 2.0 ポートに接続した USB キーボードや USB マウスを操作しますと本製品の電源が ON (入) します。これは USB 2.0 ポートへ USB 機器を接続している場合の仕様です。
USB 2.0 ポートへ、USB キーボードや USB マウスを接続したり、取り外したりするだけでも電源が ON (入) する場合があります。

2-3) 本製品の電源が ON (入) する動作に関する BIOS 設定は以下です。

【Advanced > USB Configuration】メニューの設定
USB S5 Wakeup Support [Disabled]

出荷時の設定は [Enabled] です。

電源が ON (入) しない動作に変更できる可能性があります。すべての USB 機器において変更できることを保証するものではありません。カスタム仕様によって設定項目が表示されない場合もあります。



ご注意

2-3) 項の項目を設定変更しても、1-2) 項の「電源が ON (入) する」ことが変わるものではありません。

3) メモリーモジュールの転送速度

3-1) DDR4-2666 のメモリーモジュールを装着している場合、データ転送速度の上限が「2666」に制限されます。

3-2) 本製品は、3-1) 項よりも上位または下位のデータ転送速度に対応したメモリーモジュールを装着することができます。

DDR4-2933/2666/2400/2133 SDRAM (Unbuffered / Non-ECC / Non-registered)

3-3) 本製品に装着した CPU が Celeron G5900E の場合で、装着したメモリーモジュールが DDR4-2666 であってもデータ転送速度の上限が「2400」に制限されます。このような事象は CPU 仕様によるもので、本製品の制限です。

3-4) 本製品に例えば DDR4-2666 のメモリーモジュールを 4 ヶ装着している場合にデータ転送速度の上限が「2400」に制限されます。これは製品仕様です。

4) LAN ポート

4-1) LAN ポートの順番

Windows の場合、2 つの LAN ポートが「イーサネット」、「イーサネット 2」のように表示されます。カスタム仕様により、LAN ポートの表示名が変わる場合があります。



4-2) Wake on LAN

BIOS 設定により、Wake on LAN 機能は有効です。Wake on LAN 機能をお使いになるには「Intel PROSet Adapter Configuration Utility」(管理者権限で実行)も併用ください。Wake on LAN の設定項を有効設定し、Windows のシステム設定で高速スタートアップを無効に設定します。設定後、Windows を正しくシャットダウン終了することで準備が整います。

設定後に主電源 (AC 電源) を切断した場合は、Wake on LAN の機能が解除されます。解除後であっても、Windows を正しくシャットダウン終了することで、再び準備が整います。

「Intel PROSet Adapter Configuration Utility」において、該当する LAN ポートが表示されなかったり、サポート外と表示される場合には、Wake on LAN 機能をご利用いただくことができません。これは「Intel PROSet Adapter Configuration Utility」の仕様であり、本製品の制限です。